

こふんとそのじだい

「3 古墳とその時代」の資料で、古墳について調べよう。

古墳から出土したもの 絵をかいてみよう

名前	副葬品(棺の中や外に様々な物が置かれました。) 鏡・石製の腕輪など・・・近畿で作られた・近畿の王権から与えられたと考えられるものが多くあります。貴重な宝器として、権力の象徴でした。 鉄刀・鉄鎧・・・武力を示します。 馬具・・・馬に乗る道具や馬の飾り。馬は最新の文化でこれを持つことは権力があることを示しました。 勾玉などの玉類、耳飾り・・・葬られた人を飾りました。
何に使った?	土器・・・墓に供えた。須恵器は、最新の焼きものです鳥形の飾りをもつ物もあります。 埴輪 円筒埴輪・・・筒形の埴輪。古墳のまわりにたてられ、古墳を飾り、聖域として区画したと考えられます。 家形埴輪・・・豪族の家をあらわしたものです。

古墳はどうしてつくられるようになったのかな？

1. 大きな古墳をつくるだけの力をもった人(=王)の誕生
 2. 全国(岩手～鹿児島)に前方後円墳が分布
 3. 大きな古墳は近畿に集中
 4. 出土品のなかには近畿から手に入れた(もらった)ものがある。
- 近畿地方に強力な王が誕生し、大和朝廷が成立。それとそれぞれの地域が従ったり関係を結び古墳をつくりました。

